

注目 ニュース	#	日付	FA名	ニュースタイトル	ニュース概要	感染症種別	ニュース種別								関連リンク	
							FAの 戦略/方針	ワクチン開発 進捗	取組		資金提供			イベント		組織設立 ・再編
									当該FA	支援対象機	重点感染症	その他疾患	外部からFAへ			
	266	2023/12/1	EU HORIZON	ExpreS2ion Biotechnologies: ExpreS2ion announces new EU-funded Horizon Europe grant award for Nipah virus vaccine development	ExpreS2ion Biotech Holdingは、ニパウイルス（NiV） ワクチン候補の4年以内の臨床概念実証を取得することを目的とするVICI-Disease consortiumのプログラムに対し、Horizon Europeから8m EUR（90 m SEK）の助成金を受領することを発表。うち53％はプロジェクト費用の一部として直接寄付される予定である。VICI-Disease consortiumはワクチン候補ポートフォリオの臨床概念実証研究を通して、パンデミックが発生した際にワクチン候補を提供することを目的としたコンソーシアム。ExpreS2ion、AdaptVac、Friedrich-Loeffler-Institut (FLI)、Radboud university medical center (RUMC)、University of Copenhagen (UCPH) が参画している。	ニパウイルス				●	●					リンク
	267	2023/12/4	Gavi	Gavi expands portfolio, introduces new vaccine programmes to save more lives and support child health	Gavi支援の対象国にて、5価ワクチン（ジフテリア、破傷風、全細胞百日咳[DTwP]、B型肝炎、インフルエンザ菌b型）と不活化ポリオワクチン（IPV）を組み合わせた6価ワクチンの導入計画を提出できるようになったことを発表。 また、Gavi とパートナーはB型肝炎の出産用ワクチンや狂犬病ワクチンなど、2024 年の製品ポートフォリオの拡大に向けて取り組んでいるとしている。	複数の感染症				●	●					リンク
	268	2023/12/5	NIH (NIAID)	Osivax Receives Over USD 1.5M Grant from NIAID to Advance Development of Broad-Spectrum Influenza Vaccine Candidate, OVX836	OsivaxはNIH NIAIDから、パンデミック・インフルエンザ株に対する同社の主力広域インフルエンザワクチン候補 OVX836の前臨床試験を支援するための1.5mドル以上の助成金を受領することを発表。 OVX836は、核タンパク質（NP）を標的とするインフルエンザワクチン候補。Osivax のoligoDOM technologyにて、自己集合してナノ/粒子となるNPの組換えバージョンの設計と生産を可能にし、強力なT細胞およびB細胞の免疫応答を引き起こすよう設計されている。 また、季節性インフルエンザに対するいくつかのPhase2試験にて、広域スペクトル保護の初期シグナルについて評価されている。	インフルエンザ		●		●	●					リンク
★	269	2023/12/5	CEPI	CEPI partners with biotech Jurata Thin Film to create needle-free mRNA vaccines and improve access	CEPIは、Jurata Thin Filmと提携し、Jurataの無針ワクチン送達プラットフォームである耐熱性舌下mRNAワクチンフィルムの開発を推進することを発表。初回最大1.2mドルを助成する予定で、成功すれば、十分なサービスが受けられていない地域でのmRNAワクチンへのアクセスを拡大し、将来の世界的な新興感染症の発生対応に貢献するとしている。 Jurataは、Quantoom Biosciences（Univercells子会社）が提供するmRNA含有LNPIに対し、熱安定性の高い薄膜フィルムで3D構造を安定化させることで、冷凍保存の必要性をなくすことに取り組んでいる。	－				●						リンク
★	270	2023/12/6	BMGF	VitriVax Receives \$5M Grant for Vaccine Development	VitriVaxがBMGFより2年間で5mドルの助成金の獲得を発表。この助成金により、同社は独自のシングルショット熱安定化ワクチン技術（ALTA）のさらなる開発を推進し、パイロット規模の製造能力の開発を開始することを目指す。また、助成金の一環として、同社はHIV等のモデル抗原を使用してALTAによる作用機序を研究する予定としている。	HIV				●		●				リンク
	271	2023/12/6	UKRI	Redesigning future mRNA therapeutics	MRC毒性学ユニットの研究者らが、新型コロナウイルス感染症mRNAワクチンの細胞の解読機構による誤読が、ワクチン接種者の約1/3で意図しない免疫反応を引き起こしていた可能性があること、および引き起こすmRNA内の配列を特定し、将来のmRNA治療法のより安全な設計を可能にするためのoff-targetでの免疫反応を防ぐ方法を発見したことを報告。	コロナウイルス感染症				●	●					リンク
	272	2023/12/7	CEPI	Charles River Laboratories joins CEPI's global vaccine assessment network	Charles River Laboratoriesが、CEPIの集中型ラボネットワーク参画企業に選出されたことを発表。今回の発表は、ネットワークに参加するメンバーの17番目となる。 Charles Riverとの連携により、同社の米国および世界中の研究所を利用し、非臨床試験および臨床試験を進行中の流行・パンデミックワクチン候補の、in vitroで標準化された評価を行うことができるようになる予定。	－				●						リンク
	273	2023/12/7	Gavi	More than US\$ 1.8 billion in support for African vaccine manufacturing, catching up missed children and pandemic preparedness approved as Gavi Board steps up efforts to tackle backsliding and fight health emergencies	Gaviの取締役会は、アフリカでの持続可能なワクチン製造を支援するために、最大1bドルを利用できる資金調達手段であるアフリカワクチン製造アクセラレーター（African Vaccine Manufacturing Accelerator：AVMA）の設立を承認したことを発表。 将来のパンデミックが発生した場合にワクチン対応のための即時資金を確保するための500億米ドルの初動対応基金の設立	－	●		●						●	リンク
	274	2023/12/12	UKRI	Global vaccine networks tackling infections around the world	The global vaccine networksが追加的な活動を2年間継続するために、UKRIの国際科学パートナーシップ基金から6.3mポンドの資金提供を受けることを発表。 The global vaccine networkは、2017年に新規/改良ワクチンの開発のために設立された、5つのワクチンネットワークであり、以下のテーマを扱っている。 BactiVac…細菌性病原体に対するワクチンの開発と、抗菌薬耐性の課題の解決 IVVN…低所得国の動物用ワクチン開発の課題解決 HIC-VAC…世界的影響の大きい病原体に対するワクチンの開発 IMPRINT…母体および新生児の予防接種に関する課題解決 VALIDATE…複雑な細胞内顧みられない病原体に対するワクチンの開発	－				●		●				リンク

★	275	2023/12/12	CEPI	CEPI supports novel mRNA vaccine development in Korea to protect against future Disease X	CEPIは自己増幅mRNAワクチン技術の開発を進めるため、韓国 忠北国立大学（Chungbuk National University：CBNU）との提携を発表。CEPI の支援を受けて、CBNUはまず鳥インフルエンザH5N1ウイルスに対してプラットフォーム技術の評価する予定。 CBNUの自己増幅mRNA設計プラットフォーム技術は、体内にmRNAを複製する指示を与えることで機能し、これにより生成されるタンパク質の量が増幅され、抗原の量が減少するため、必要なワクチンの投与量が減り、ワクチンのコストが削減される可能性がある。また、mRNAの典型的な特徴である 5′ キャップを別の修飾で置き換えることで、コストはさらに削減される可能性があるとしている。	インフルエンザ				●		●					リンク
	276	2023/12/12	NIH	Impact of COVID-19 infections and vaccines on preterm birth	NIHがStanford University、University of Wisconsin-Madisonの研究者らに一部助成を提供した新しい研究成果にて、妊娠第3期中をカバーするワクチン接種の重要性について報告。妊娠第3期中のSARS-CoV-2への感染が早産のリスク増加と関連すること、2020年から2022年にかけて早産のリスクが高まったが、ワクチンが広く普及し2022年末までにリスクがほとんどなくなったとしている。	コロナウイルス感染症					●		●				リンク
	277	2023/12/13	UKRI	MHRA supports launch of Innovate UK's first-of-its-kind initiative to fund new Regulatory Science and Innovation Networks	MHRAは、Innovate UK初のイニシアチブRegulatory Science and Innovation Networks (RSINs) を新規に立ち上げ、他の機関と協力するために資金提供を希望するアカデミアの応募を開始することを発表。規制当局の課題として次世代のイノベーションに予め備える必要が挙げられている。また、英国政府が掲げるLife Sciences Visionでは規制システム全体における連携の重要性が強調されている。RSINは連携を促進し、産業界、アカデミア、政府全体を横断した強力な人材プールの構築に役立つとしている。 プログラムは 2 つのフェーズで構成されている。前半の6か月のDiscovery Phase（探索フェーズ）では初期的な連携として、関係を構築し、アプリケーションを開発するための活動を支援するために資金が供与される。続くImplementation Phase（実装フェーズ）では、Discovery Phaseの連携がRSINの確立に繋がるための活動に資金が供与される予定である。	－				●		●				●	リンク
	278	2023/12/14	CEPI	CEPI and PATH strengthen partnership to accelerate development of vaccines against diseases with epidemic or pandemic potential	CEPIとPATHは、新興感染症に対するワクチンの迅速な開発を加速し、また開発にかかる時間を短縮するCEPIの100 Days Missionを支援するための新たな協力を発表した。 PATHはCEPIのプロジェクトの設計、管理、実施、調整、運営監視能力の強化を支援し、PATHはCEPI・パートナーと協力して概念実証から認可までワクチンの迅速な開発を可能にするサービスを提供する予定としている。 このCEPI-PATHパートナーシップは、両組織間のこれまでの成功した協力関係に基づいている（特に致死性ニパウイルスに対するワクチン候補の初期段階臨床試験でのCEPIに対する支援や、新型コロナウイルス感染症ワクチン開発のPhase3試験の契約など）。	－				●		●					リンク
	279	2023/12/14	NIH (NIAID)	NIH research identifies opportunities to improve future HIV vaccine candidates	NIAIDの研究者らは、HIV感染からの防御のためにHIVワクチンは、CD8＋T細胞からの強力な反応を促す必要があることを示した研究成果を報告。 この免疫系をさらに刺激するための追加用量の検討、体内での持続期間の検討により、将来のHIVワクチン候補がより成功する可能性があることを示唆している。また、HIV ワクチンの評価は、これまでのCD8＋T細胞数だけでなく、CD8＋T細胞の機能と感受性への影響の測定により判断できる可能性があることにも言及している。	HIV				●		●		●			リンク
★	280	2023/12/14	HHS	FACT SHEET: Biden-Harris Administration Announces Voluntary Commitments from Leading Healthcare Companies to Harness the Potential and Manage the Risks Posed by AI	Biden-Harris政権の方針に基づき、AIが医療現場で安全かつ責任を持って導入されることを保証するための「[HEALTH SECTOR AI COMMITMENTS]」を発表。 今回のcommitmentsは、28の医療提供者と支払者組織からなるグループによる「需要側」の事業者・医療従事者等からのものあるとしている。コミットメントの内容は以下の通り。 1. 医療の提供と支払いを最適化する AI ソリューションの開発に精力的に取り組む。 2. 自組織やパートナーと協力して、結果がAI 原則に沿っていることを確認する。 3. コンテンツの大部分が AI によって生成され人間によってレビュー・編集されていない場合は、ユーザーに通知する信頼性メカニズムを導入する。 4. リスク管理フレームワークを遵守する。 5. 責任を持って迅速に研究、調査、開発を行い、医療における予測モデルやその他のフロンティアモデルの使用を最適化するために、これらの措置を講じることを約束する。	－				●		●					リンク
★	281	2023/12/15	BARDA	In 2023, BARDA advanced its capacity to stay at the forefront of health security and innovation	2023年のBARDA Industry Dayにて、準備・対応担当次官補Dawn O'Connell氏より成果を報告。主な成果は以下であったと総括している。 ・製品開発から規制当局の承認を進めるパートナーを支援し、FDAの承認を20件/年で達成した。 ・新規パートナーに35件以上の助成を授与し、722件の契約を締結し、Blue Knight ポートフォリオに新たに13社を追加、BARDA Ventures パートナーとして新たに7社投資。 ・8件のアウトブレイクまたは公衆衛生上の緊急事態に対応し、国家的な備えを強化するために6つの MCMを調達した。 ・業界パートナーに対し5 件の RFI をリリースし、利害関係者との TechWatch ミーティングを217 回開催。 ・従事者数を9%増加させ、パートナーシップのサポートと維持に不可欠な多くの技術職を採用。 ・新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対する対策と教訓の活用のため、NIH NIAIDと協力してProject NextGenを立ち上げた。	－									●		リンク
	282	2023/12/18	WHO	Statement on the antigen composition of COVID-19 vaccines	COVID-19ワクチンの組成に関するWHO技術諮問グループ(TAG-CO-VAC)は、COVID-19ワクチンの今後の製剤開発への情報提供を目的として、現在流行しているXBB.1亜系統について遺伝的進化、現在承認されているワクチンまたは候補ワクチンによる抗原性と交差防御、更新された抗原の動物モデルでの前臨床免疫原性に関するデータのレビューをした。	コロナウイルス感染症				●		●					リンク

★	283	2023/12/19	NIH (NIAID)	GeoVax Expands Rights Under NIH COVID-19 License to Include Mpox and Smallpox	GeoVaxは、NIH NIAIDとのSARS-CoV-2に対するワクチン開発支援のために締結した特許および Biological Materialsのライセンス契約を修正し、追加の適応症としてオルソボックスウイルス（Mpox、天然痘等）を含めたことを発表。	オルソボックスウイルス					●	●						リンク
	284	2023/12/19	CEPI	CEPI partners with Rwandan-US Akagera Medicines to improve the delivery and accessibility of mRNA vaccines	CEPIは、多価インフルエンザワクチン開発のための革新的なLNPと修飾mRNAの研究開発を推進するために、Akagera Medicinesに1.46mドルを助成することを発表。 Akagera MedicineのLNP製剤はmRNAの送達の最適化により潜在的なLNP関連の有害事象を軽減する可能性があり、保存期間の延長、商品コストの削減、必要量の削減など、ワクチンへの公平なアクセスを進めることに貢献するとしている。	インフルエンザ				●		●						リンク
★	285	2023/12/21	WHO	Highly effective, R21/Matrix-M™ malaria vaccine developed by University of Oxford and the Serum Institute of India awarded WHO ‘stamp of approval’	University of OxfordとSerum Instituteが開発したR21/Matrix-M™ マラリアワクチンがWHOの事前資格資格ステータス「stamp of approval」を獲得したことを発表。 2023年10月にWHOの独立諮問機関SAGEとマラリア政策諮問グループ（Malaria Policy Advisory Group：MPAG）が小児のマラリア予防のためにワクチンの使用を推奨。それを受けて今回の事前資格認定に繋がっており、規制上のマイルストーンとして、UNICEFがワクチンを調達し、GAVI が購入するための必須の前提条件として機能するとしている。	マラリア				●			●					リンク
★	286	2023/12/21	CEPI	New partnership aims to advance vaccine against MERS coronavirus	CEPIは、Barinthus Biotherapeuticsに対し、MERSコロナウイルスワクチン候補VTP-500の開発を迅速化するための追加の34.8mをの助成を発表。 VTP-500はOxford-AstraZenecaが開発したCOVID-19ワクチンと同じウィルスベクタープラットフォーム ChAdOx1技術に基づいており、英国とサウジアラビアでPhase1試験を完了、現在高齢者に対するワクチン接種を評価するために、英国でCEPIの資金提供によるPhase1試験の延長を実施。 またVTP-500は2023年12月にEMAからPRIME指定を取得している。	コロナウイルス感染症				●		●						リンク

注目ニュース星取ルール
感染症種別が重点感染症かつFAが投資しているワクチンの開発状況に関わるニュース
FAの戦略/方針の中でも特にワクチンや重点感染症に関連するニュース
その他 ワクチン開発関連においてAIの活用など新規技術の活用がされているニュース